

市議会12年の経験・実績を県政に!

市民の命を守る「習志野」の実現

伊藤ひろし

(平成31年千葉県議会議員 習志野市選挙区立候補予定者)



(本名) 伊藤 寛 (いとう ひろし)

(現住所) 千葉県習志野市袖ヶ浦2丁目4番1-102号

(家族) 妻: てるみ 子供: 長男 小学5年生・10歳

▼生まれ・略歴

出生地: 富山県中新川郡上市町 (両親: 富山県滑川市出身)

昭和50年10月22日生まれ (43歳)

平成17年7月より 習志野市に在住

(妻: 袖ヶ浦東幼稚園、袖ヶ浦東小学校、第三中学校、市立習志野高校卒)

東海大学附属望洋高校卒業 (現 東海大学附属市原望洋高校)

東海大学政治経済学部卒業

医薬品販売業従事 (平成18年退職)

千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター勤務 (退職)

平成19年4月 習志野市議会議員選挙初当選 (31歳・第1位 4633票)

平成23年4月 2期連続当選 (35歳・第1位 3862票)

平成27年4月 3期連続当選 (39歳・第1位 3937票)

平成27年5月 習志野市議会第32代副議長就任 (平成29年5月まで)

▼所属議員会派

真政会 (5人会派 ※習志野議会定数30名)

▼現在の市議会関係の役職

○市有財産調査委員会 委員長

▼市内で参画している主な地域活動

○体育協会 理事 ○ソフトボール協会 理事

○消防団第2分団 班長

○交通安全協会 袖ヶ浦支部長

○菊田神社青年会 ○青年会議所 OB

▼任期満了の市議会の役職

○市議会副議長

○建設常任委員会 委員長

○予算特別委員会 委員長

○消防委員会 委員

○環境審議会 委員

○長期計画審議会 委員

○空家等対策協議会 委員

○開発公社 評議員

▼市議会 3 期 1 2 年の主な実績

- 救命
 - ①市内全消防署の救急車に 2 4 時間救急救命士の搭乗
 - ②高規格救急車の全配備
- 防災
 - ①屋外スピーカーから流れる内容の電話確認サービスの実施
 - ②市内県立高校と市立高校体育館の避難所指定と防災倉庫の設置
 - ③屋外スピーカーの市内増設
 - ④集中豪雨による浸水被害対策として、集水桝の改良
- 災害復旧
 - ①埋め立て地区の下水道管の接続部にゴム管を使用する耐震対策
- 福祉
 - ①JR 新習志野駅ホーム内にエレベーター 3 台設置
 - ②人口膀胱・肛門の方のために、市内 5 カ所に対応トイレの整備
 - ③消防指令センター大画面スクリーンへの、災害時要援護者の位置情報の掲載
 - ④駅周辺の段差解消・音響式信号の設置、街路灯の増設など、バリアフリーの推進
- スポーツ
 - ①スポーツ施設の駐車場不足の解消に向けた臨時駐車場 5 0 台の整備
- その他、通学路の交通事故と犯罪の予防推進、公園遊具の安全推進の取り組みも採用されています。

▼県政でやりたいこと “市民の命を守る「習志野」の実現”

1、くらしの安全の確立

- ①水門の設置（津波・高潮による減災：市内 3 河川への水門と排水機設置）
- ②防災倉庫の備蓄（円滑な物資提供：県管理下の葛南地区防災倉庫の備蓄充実）
- ③水道管の耐震化（液状化被害の予防：市内県水道地区の耐震管の促進）
- ④避難所の電力保持（停電に強い避難所：学校等に国基金を活用した再生可能エネルギーの導入）
- ⑤災害時輸送道路の確保（円滑な物資輸送：国指定道路の無電柱化など、確実な救援体制の整備）
- ⑥信号機の強化（自給電力：停電に強い電力システム）
- ⑧電話 de 詐欺対策（振り込み詐欺ゼロ：相手に通話録音を示す案内装置の設置推進）
- ⑨防犯カメラの設置（安全なまちづくり：ICT（情報通信技術）を活用した警察行政の強化）
- ⑩通学路の犯罪抑止（警察の巡回強化：登下校時間帯のパトロール強化）

2、子ども・子育て世代への支援

- ①県立特別支援学校の誘致（障がいのある児童の教育環境の向上：県立特別支援学校中等部の誘致）
- ②発達支援教育の教員増配（特別支援・通級学級教室の各学校配置：専門免許保有教員の増員）
- ③エアコン設置・トイレ改修（学習環境の向上：国補助金の事務手続きの円滑化）
- ④読書県「ちば」の強化（本に親しむ習慣づくり：指導者研修の充実・読書活動の推進支援）

3、高齢者・障がいのある方へのくらしの安心の確立

- ①介護士の人材確保（福祉従事者の定着：介護士・障がい福祉職員の給与上乗せ補助支援）
- ②グループホームの整備（福祉環境の向上：認知症・障がいのある人のショートステイも含めた、公有地・民有地の有効活用）
- ③就労支援（障がいのある人の経済的自立支援：企業支援・県庁の備品調達方針の策定）